

大阪府市場だより

大阪府中央卸売市場



総合食品供給基地

第367号 令和4年9月29日
発行 大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島1-1-1水産棟3階）
連絡先 TEL：(072)636-3698、FAX：3699、メール：office@fu-ichiba.jp
URL https://fu-ichiba.jp



常駐代表者会議

標記会議（三木博司議長）が、9月15日の朝8時10分より、管理棟7階において、植田孝協会理事長兼

管理棟社長と新たに管理棟に就任された矢追武氏が参加される中、開催されました。

議事概要は、次のとおりです。

■府からの報告



絵：「サケ」

□令和4年度の取扱高

前年度同月比較で、市場全体の取扱高は、金額ベースで約8.4億円、2.4%の増、直接集荷は金額ベースで約0.7億円、1.5%の増。

□令和5年臨時休場日

令和5年の開場日数は252日（水産物部は253日）となる。なお、東京都の青果部の開場日数は同じであるが、水産物部は256日。

□開場45周年記念式典

令和5年5月8日（月）の10時から管理棟7階大会議室で開催。

植田孝市場協会理事長を委員長とし、常駐代表者会議メンバーを委員とする実行委員会を設置して取り組むことになった。

□西1号門の出庫プザー

10月上中旬に、西1号門から市道宮島2号線に出る際に出庫を知らせるプザー等を設置する。

□建替え再整備

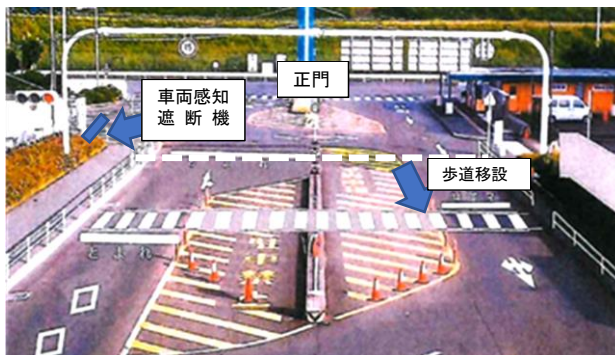
府から「10月末をめどに基本計画のただき台策定に取り組んでいるところ。先日、卸各社のヒアリングに協力いただき感謝。仲卸は各組合を通じてアンケートを実施中。回収の協力をよろしく。」との発言があった。

■管理棟からの報告

□活性化事業

○ハード事業

- ・管理棟前横断歩道移設工事
- ・管理棟前交差点東側車両感知遮断機設置工事



○ソフト事業

- ・産地／大学連携事業
- ・オール梅花1DAYキャンパス（9月19日、グランフロント大阪で開催）で、飛騨野菜出荷組合が「飛騨やさい」のPRを実施。

※協力：飛騨野菜出荷組合、JAひだ、JA全農岐阜、北果産地連携事業

万博記念公園駅における「オータムマルシェ飛騨」（10月22・23日）

週替わりでやってくる！ **10月**
キッチンカースケジュール
 出店場所：管理棟前駐車場
 ※諸事情により、日程変更、中止させて頂く場合がございます。

	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	A	4	5	6	7
8	9	10	11	B	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23/30	24/31	25	26	27
28	29					

A 10:00~15:00
3Rマジック
 カレーからあげポテト

B 10:00~16:00
Rabbit's Crepe
 クレープ

C 11:00~14:00
大阪たこ焼き本舗まるたこ焼き

D 10:00~14:00
マカナキッチン
 ハンバーガー 焼き肉丼

大阪府中央卸売市場管理センター 1階

大掃除

9月9日(金)の朝8時半から水産、昼12時から青果の大掃除が実施されました。

多くの方に参加いただきありがとうございます。次回は**11月に今年最後の大掃除**を実施する予定なので、今月同様、よろしくお願いたします。

榎本水産物卸協同組合理事長も参加

来月のお知らせ

・3日から水産物卸協同組合の事業者の計量器検査が行われます。

・府議会で本会議が開催されます。

・11日は「安全・安心なまちづくりの日」です。

また、11日から20日には「**全国地域安全運動**」が実施されます。

大阪府新型コロナウイルス対策本部会議からの要請
 (令和4年9月15日から当面の間)

【府民の皆様へ】

- 感染防止対策(3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等)の徹底
- 早期のワクチン接種(5~11歳の子どもを含む)を検討すること
- 高齢者の命と健康を守るため、高齢者及び同居家族等日常的に接する方は、感染リスクが高い場所への外出・移動を控えること
- 高齢者施設での面会時は、感染防止対策を徹底すること
- 感染対策が徹底されていない飲食店等の利用を控えること
- 旅行等、都道府県間の移動は、感染防止対策を徹底するとともに移動先での感染リスクの高い行動を控えること

【企業の皆様へ】

- 早期の3回目のワクチン接種を検討するよう周知徹底すること
- 療養証明・陰性証明の提出を求めないよう周知徹底すること
- 在宅勤務(テレワーク)の活用、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組みを進めること
- 休憩室、喫煙所、更衣室などでマスクを外した会話を控えること
- 高齢者や基礎疾患を有する方等、重症化リスクのある従業者、妊娠している従業者、同居家族に該当者がいる従業者について、テレワークや時差出勤等の配慮を行うこと
- 業種別ガイドラインを遵守すること

図書室だより

10月27日から「**読書週間**」が始まります。協会には今話題の図書も取り揃えていますので、是非、利用ください。

今月のおすすめ

書名	著者
お探し物は図書室まで	青山 美智子
線は、僕を描く	砥上 裕将
アキラとあきら	池井戸 潤

《4月~8月・累月》

	種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
青果	野菜	44,129	92.9	9,937,588	101.5
	果実	17,514	90.7	8,243,666	104.7
	小計	61,643	92.3	18,181,254	102.9
水産物	生鮮水産物	6,262	84.2	6,248,735	109.1
	冷凍水産物	894	91.7	1,228,373	108.2
	加工水産物	3,912	86.9	4,511,397	94.1
	冷凍食品	1,432	88.6	746,021	90.6
	小計	12,499	86.0	12,734,526	102.1
総計		74,142	91.2	30,915,780	102.6

《8月・単月》

卸売業者取扱高

	種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
青果	野菜	8,043	93.7	1,795,785	99.7
	果実	4,178	107.3	2,185,387	114.2
	小計	12,221	98.0	3,981,171	107.2
水産物	生鮮水産物	1,102	87.4	1,180,239	113.5
	冷凍水産物	161	78.1	225,790	87.2
	加工水産物	650	75.7	727,198	82.3
	冷凍食品	273	82.5	138,955	78.9
	小計	2,186	82.3	2,272,183	96.4
総計		14,407	95.2	6,253,354	103.0

開設者からのお知らせ

■業務検査が始まります

10月から来年2月にかけて、条例に基づき開設者による検査が始まります。

今年度から、新型コロナウイルスや物価上昇等、経営を取り巻く昨今の社会情勢に対応するため、公認会計士による経営相談も実施する予定です。

検査に際しては、「ご理解とご協力をお願いします。」

■直集届出は毎月10日まで

仲卸業者は、市場外の仕入先から生鮮食品等を買入れて販売（直接集荷）したときは、知事へ届け出るとともに、売上高割使用料を納付いただいております。

使用料は施設運営等に活かされていますので、毎月10日までに仲卸組合の窓口へ提出してください。

北大阪流通業務団地周辺道路問題対策協議会

9月22日に標記協議会による路上駐車への啓発活動を実施しました。協議会メンバーに加えて、茨木警察署の4名にも協力をいただき3班、28名で、1台ずつ駐車理由を確認して啓発チラシを配布するとともに、車両の移動を促しました。



社会情報

食品検査の信頼性確保のために

食品検査は健康被害を防ぐ重要な手段のひとつです。検査の結果、法令で定める基準から外れていたら、府民がその食品を口にしないよう流通から排除しなければなりません。そのように社会的に大きな影響を与える検査結果は、信頼できる正しいものである必要があります。

誰が検査を行っても同様の結果が得られるようになり、検査の精度を保つことができます。このように、マニュアルや記録によって業務を見える化することで、検査の適正性も担保できます。食品事業施設における HACCP の手順書や記録によく似ています。

◎精度管理の実施

左表の精度管理試験により、検査の精度や検査者の技能を随時評価しています。

<p>【細菌検査】検査の都度、目的の菌株を同時に検査し、問題なく検出できることを確認する。また、その菌数が適正な範囲内であることを確認する。</p>	<p>【理化学検査】検査の都度、添加回収試験を行い、70～120%の回収率が得られることを確認する。また、毎年、5回以上の繰り返し試験を行い、検査結果にバラつきがないことを確認する。</p>
--	---

また、検査技能の向上のため、大阪健康安全基盤研究所で定期的に研修も行っていきます。

◎外部調査への参加

第三者機関が実施する精度管理調査に参加しています。

この調査では未知の試料に対して検査を行い、その結果を提出します。衛検の検査水準が、他の機関と比べてどの程度なのか、客観的に評価することができます。

◎内部監査

大阪府では、検査の信頼性を確保するため、大阪府庁（食の安全推進課）に信頼性確保部門を設置しています。

この部門により、衛検の検査業務がマニュアルに沿って実施されているか、記録がきちんと作成・保管されているかなどについて、定期的に監査が実施されます。

このように、常に正しい検査結果を出せるよう、様々な取組を行っています。市場に流通する食品の安心・安全を守るために、今後も信頼性確保に実直に取り組んでいきます。

令和5年 臨時休開場日カレンダー

1月 (20日)	2月 (19日)	3月 (22日)
4月 (20日)	5月 (20日)	6月 (22日)
7月 (21日)	8月 (21日)	9月 (21日)
10月 (22日)	11月 (21日)	12月 (23日)

条線上の休日 ■ 臨時休業日 ● 臨時開場日 ○ 水産物部のみ臨時開場日 ★

※協力：飛騨蔬菜出荷組合、JAひだ、JA全農岐阜、北果

○維持補修事業
 9月14日現在で113件、約200万の事業を実施。
○府依頼事業
 青果棟屋上防水改修工事と水産仲卸B棟低圧共用幹線設備改修工事を予定。
○ごみ関連
○不法投棄
 8月は8件で、対策開始前に比べて94%の減少。
○青果くず排出
 8月は排出量、処理費用ともに対前年比0.9%増。累計では排出量、処理費用ともに対前年比4.5%減。ただし、9月14日現在、増加傾向。大量投棄の際は、受け入れ態勢の確保及び

食品ロス削減のため、事前に管理まで連絡を！
○木製廃棄パレット排出
 8月は対前年比で排出量、処理費用ともに10%を超える減少。累計でも対前年比で排出量、処理費用ともに17%の減少。引き続き更なる削減を目指し、外部の持ち込み禁止、利用可能なパレットの再利用を徹底。
○カラス対策
 9月14日現在で207羽を捕獲。6・7月の2羽の捕獲が8月は80羽に増加。専門家の現場調査を踏まえ新たな手法（捕獲籠の改修、水産A棟ごみ置場にプラ製青色くさりチェーンを設置）を検討。

○禁煙対策
 9月14日現在、通告書交付（違反者）は325件（うち場外は82件）、警告書交付（再違反者）は28件。さらに累犯で入場禁止。
○そ族（ネズミ）対策
 8月5日から9月14日で63匹を捕獲。
※捕獲籠設置場所は水産仲卸店舗周囲、青果高架下冷蔵庫外側、外周緑地帯
○場内通り抜け車両対策
 9月22日7時から12時に、場内通り抜け車両に対する検問・指導を実施。食流（トラクターミナル）の供用開始により一層の増加が想定されるため、車両入場証の復活も選択枝（要審議）。
○水産仲卸事務所のまた貸し
 公文書による是正通知を実施。改善がなければ使用許可取消し処分を検討。
○電気代の増嵩状況
 現下の状況を踏まえ新電力から関西電力に変更したものの、割引の見直しや燃料調整費の高騰で高止まりが続いている。
○CSR活動、行政の福祉化
 市内授産施設によるカレシの出張販売（9月30日の11時半より青果仲卸棟2階休憩室に於いて）

■その他
○北部冷蔵からの発言
 「電気代高騰等により経営状況が悪化しているが、開設者や管理、利用者各位のご協力に深く感謝」との発言があった。
○協会部長からの発言
 西田景典安全部会長より先般の大掃除への参加に感謝が示されるとともに、秋の全国交通安全運動への協力の依頼がなされた。榎本昭弘計量部会長より計量器検査の日程の報告と協力の依頼がなされた。
○来年のカレンダー
 コスト抑制のため、紙厚を若干薄くすることについて報告があり、了承された。挿絵について、まだ季節感とあわないものがあるとの指摘があり、事務局で検討することになった。

人事異動

《敬称略、（ ）内は前職》
 ○株うおいち（10月1日付）
 ▼市場営業本部北部鮮魚部第一課参事（同参事課長代理）高島稔 ▼市場営業本部北部鮮魚部第一課参事課長代理（同参事）吉川嘉一

府政学習会

9月17日（土）に、府本庁の府政情報室の主催で、開設者及び管理協力のもと、標記会が開催されました。公募の結果、約650名の希望があり、そのなかから抽選で選ばれた府民40名が、2班に分れて市場内を見学しました。

見学の終了後、管理棟7階で市場の紹介、テーマ学習「府民の台所を支える市場の役割」が開設者により行われました。

